

防府市ごみ処理基本計画における取組の進捗状況等について

I 取組の進捗状況

防府市ごみ処理基本計画の令和 4 年度から 7 年度までの個別施策の進捗状況についてまとめました。

- →概ね取組が進んでおり、継続して実施していくもの
△ →計画策定後、取組みの見直しを実施する（した）もの

基本方針 1 発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の推進

基本施策 個別施策	主な取組	進捗 状況
基本施策 1 情報発信による意識啓発		
① 施設を活用した環境教育・環境学習（P49）	・クリーンセンター施設見学の受入 ・紙すき体験の実施 ・クリーンセンター エコまつりの開催	○
② 出前講座等の実施（P50）	・出前講座（学校、外国人向けなど）の実施 ・環境副読本の活用	○
③ 分かりやすい情報発信（P50）	・外国語版（英語・中国語・ハングル・ベトナム語）ごみの分け方・出し方の作成・配布 ・ごみ分別アプリの配信 ・市広報へのごみ出しルール等掲載 ・イベント等で分別ゲーム実施 ・可燃ごみの種類別組成分析の公表	△
基本施策 2 家庭系ごみの減量化		
④ プラスチックごみ削減の推進（P51）	・エコまつり等のイベントでエコバッグ配布 ・プラスチック資源一括回収の検討	△
⑤ 食品ロス削減の推進（P51）	・フードドライブの開催 ・市広報等による食品ロス削減に向けた取組の普及啓発 ・やまぐち食べきり協力店の登録推進	○
⑥ 生ごみの減量化・水切りの徹底（P51）	・水切りの必要性の周知、水切り用品の紹介等	○
⑦ 生ごみ等の堆肥化の促進（P51）	・生ごみ処理機等の購入費助成 ・ダンボールコンポスト教室の開催	△
基本施策 3 事業系ごみの減量化		
⑧ 自己処理責任・ごみの減量化等の周知徹底（P53）	・事業系廃棄物の適正処理の周知徹底 ・事業系廃棄物の減量及び適正処理の手引きの作成、配布	○
⑨ 排出事業者への指導（P53）	・多量排出事業者への訪問指導	△
⑩ 許可業者への指導（P53）	・許可業者等への適正排出の指導 ・事業系収集運搬許可業者による排出量報告	○
⑪ 事業系ごみ処理手数料の適正化（P53）	・事業系廃棄物の搬入量制限	△

基本施策4 再使用の推進		
⑫ 粗大ごみ再生事業の実施 (P53)	・家具等再利用品の抽選による無償譲渡の実施	○
⑬ リユース製品の利用促進 (P53)	・リターナブルびんの店頭回収及び資源化推進事業による集団回収の周知	○

基本方針2 再生利用（リサイクル）の推進

基本施策 個別施策	主な取組	進捗 状況
基本施策1 市民が取り組むリサイクルの推進		
① 分別排出の周知徹底 (P54)	・新しいごみの分け方・出し方（冊子）の配布 ・新分別収集の開始（資源ごみ等の分別品目の拡大）	△
② 紙類の分別推進（P54）	・紙類の分別排出について周知 ・事業所向けには搬入基準を徹底	△
③ 廃棄物減量等推進員等との 連携強化（P55）	・廃棄物減量等推進員の研修会を開催 ・資源ごみステーション等での分別指導の実施	○
④ 自主搬入、集団回収（資源化 推進事業）の推進（P55）	・自主搬入実施自治会への支援 ・資源化推進事業による集団回収への助成	○
基本施策2 事業者が取り組むリサイクルの推進		
⑤ 店頭回収等の推進（P55）	・店頭回収事業者の実態調査及び市ホームページ等での紹介	○
⑥ 事業系資源ごみの無料受入れ等（P55）	・リサイクル施設での事業系の古紙等資源ごみの無料受入れの実施	○
基本施策3 行政が取り組むリサイクルの推進		
⑦ 市による資源回収の推進 (P56)	・小型家電の拠点回収（出張所等への回収ボックス設置） ・羽毛布団、古着・古布の分別回収開始	△
⑧ 処理施設における資源回収 (P56)	・不燃ごみから鉄・アルミニウム等の選別回収	○
⑨ 焼却灰の資源化の推進 (P56)	・焼却灰の全量セメント原料化の実施	○
⑩ 再生品の利用促進（P56）	・本市におけるグリーン購入製品の優先的調達・使用	○

基本方針３ 適正処理の推進

基本施策 個別施策	主な取組	進捗 状況
基本施策１ 効率的な収集運搬体制の構築		
① 家庭系ごみの適切な収集運搬体制の確保（P58）	・可燃ごみ収集の民間委託 ・収集コース再編等による収集業務の効率化	○
② 処理困難物の適正処理の推進（P59）	・処理困難物や有害物等の適正処理の周知	○
③ ごみステーションの適正管理の推進（P59）	・ごみステーション整備への助成 ・可燃ごみステーションへの固有番号の付番 ・ごみステーション設置基準の制定	○
④ 在宅医療廃棄物の適正処理の推進（P59）	・医療系廃棄物の適正処理の指導	○
⑤ 事業系ごみ適正処理の推進（P60）	・搬入物検査の実施 ・搬入基準違反者への処分基準の制定	○
⑥ 一般廃棄物収集運搬業の許可制度（P60）	・一般廃棄物収集運搬許可業者への実態調査及び許可要件等の検討	○
⑦ 環境負荷の少ない収集運搬の推進（P60）	・収集車両の計画的な更新	○
⑧ 高齢者等ふれあい戸別収集の実施（P60）	・高齢者等ふれあい戸別収集の開始、実施	○
⑨ 家庭系一時多量ごみの有料個別収集制度の拡充（P60）	・民間事業者が取り扱うことを含め、収集運搬体制の拡充の検討	○
⑩ 新型コロナウイルス感染症等に対する処理体制の安定確保（P61）	・感染防止対策を講じることで、廃棄物処理体制の安定確保を図る。	○
基本施策２ 環境負荷の低減に配慮した中間処理の推進		
⑪ 処理過程における資源化・減容化・エネルギー回収の推進（P61）	・バイオガス化施設での可燃ごみ処理 ・バイオガスを利用した高効率廃棄物発電	○
⑫ 安定的かつ効率的な中間処理施設の運営（P62）	・運営事業者との月例協議会の開催及び業務監査の実施	○
⑬ 温室効果ガス排出量の削減（P63）	・廃棄物発電により施設内電力を賄い、温室効果ガス排出量を削減	△
⑭ バイオマスプラスチックの利用促進（P64）	・バイオマスプラスチックを使用したごみ袋の導入を検討	○
基本施策３ 適正な最終処分の推進		
⑮ 最終処分量の削減（P65）	・中間処理による再資源化、セメント原料化等による最終処分量の削減	○

本施策 個別施策	主な取組	進捗 状況
基本施策4 その他の適正処置対策の推進		
⑯ 環境美化活動の推進（P66）	・ 市民一斉清掃等のごみ収集 ・ 自治会への消毒機の貸出	○
⑰ 不法投棄及び野外焼却の防止対策の徹底（P66）	・ 不法投棄パトロールの実施 ・ 不法投棄カメラの運用及び不法投棄禁止看板の配布等	○
基本施策5 災害廃棄物の適正処置の推進		
⑱ 災害廃棄物の適正処置（P67）	・ 防府市災害廃棄物処置計画の策定 ・ 自治会災害廃棄物ステーション見直し	○
⑲ 災害廃棄物の広域的な処置体制の整備（P67）	・ 災害時のごみ処置等に係る協定の締結	○

Ⅱ 施策及び現状分析から見える課題と今後の取組みについて

1 ごみの減量に関する課題（ごみ処理基本計画 P37）

(1) 家庭系ごみ

- ・ごみ総排出量は、傾向としてはおおむね減少傾向である。
- ・市民アンケートの結果では、ごみの減量化やリサイクルに対する関心は高まっていますが、一方で、ごみ減量容器購入費補助金制度についての認知が進んでいない。
- ・別紙資料2の県内13市との比較
本市は、1人当たりの家庭系ごみ排出量は少なく減量化の意識が高い。
一方、家庭系ごみ排出量から資源回収量除いた排出量を他市と比較した場合、除く資源回収量が他市と比べ少ない。

基本方針1 2R（リデュース・リユース）の推進

基本施策1 情報発信による意識啓発

施策名	概 要
③ 分かりやすい情報発信	・市公式LINEを活用し、ごみの分別方法を容易に検索できるようにし、更にゴミ出し日の通知機能を追加する。 ・市ホームページのごみ分別ページの二次元コードを作成し、必要とされるごみステーションへ貼付することで、ごみの分け方出し方を確認できる仕組みを増やす。 ・家庭ごみ分別収集カレンダーを刷新し、分別の分かりやすさに取り組む。

基本施策2 家庭系ごみの減量化

施策名	概 要
④ プラスチックごみ削減の推進	・指定ごみ袋として使えるレジ袋を製作し、プラスチックごみ削減に取り組む。 ・製品プラスチックとプラ製容器包装の一括回収を開始する。
⑦ 生ごみ等の堆肥化の促進	・公民館など地域に出向いて段ボールコンポスト教室を開催し、生ごみの減量化の方法について周知する。

基本方針2 再生利用（リサイクル）の推進

基本施策1 市民が取り組むリサイクルの推進

施策名	概 要
② 紙類の分別推進	・クリーンセンターへの搬入者に紙類の分別について説明。 ・分別の説明チラシを作成し、周知する。

(2) 事業系ごみ

- ・事業系ごみの排出量については、新型コロナウイルス感染症による事業活動の縮小により一旦減少したが、その後、増加傾向にある。
- ・令和8年4月において搬入手数料の値上げを実施。

基本方針1 2R（リデュース・リユース）の推進

基本施策3 事業系ごみの減量化

施策名	概 要
⑪ 事業系ごみ処理手数料の適正化	・受益者負担等の観点から事業系ごみ処理手数料の値上げを引き続き検討する。

2 リサイクルに関する課題（ごみ処理基本計画 P37）

○資源ごみの量については、減少している。

【理由】

- ・新聞等が近年、電子化の進展により発行部数が減少。
- ・プラ製容器包装やペットボトル、びんなどにおいては企業努力による製品自体の軽量化が進み減少。
- ・小売店の店頭回収の利用や、資源回収業者への排出も選択される市民の方が増えていることがアンケートから分かる。

【施策】

- ・びんの排出機会についてクリーンセンターで土日、祝日も含め排出ができることを知らない方が多いことから、周知の工夫を行う。
- ・分別収集カレンダーを令和9年度から刷新することを予定。
分別排出が進むよう表現方法の検討を行う。

基本方針2 再生利用（リサイクル）の推進

基本施策1 市民が取り組むリサイクルの推進

施策名	概 要
① 分別排出の周知徹底	・出前講座の実施等により、分別排出について周知する。 ・防府市公式LINEを活用し、ごみの分別方法を容易に検索できるようにしたり、ごみ出し日の通知機能を追加する。 ・市ホームページの二次元コードを作成し、自治会を通じてごみステーションへ貼付することで、ごみの分け方出し方を確認できる仕組みを増やす。 ・家庭ごみ分別収集カレンダーを刷新し、分別の更なる分かりやすさに取り組む。

基本施策3 行政が取り組むリサイクルの推進

施策名	概 要
⑦市による資源回収の推進	・令和6年度からびん類の排出機会を行っており、365日いつでも排出できる体制を継続する。

3 プラスチックごみ削減に関する課題（ごみ処理基本計画 P38）

- ・令和9年3月からプラスチック資源一括回収の開始。
- ・市民の方が容易にプラスチック資源の分別排出ができるよう分かりやすい周知に取り組む。
- ・ワンウェイプラスチックの使用抑制に向け、マイバック持参運動、スーパーのレジ袋削減のため、新たに指定ごみ袋として2次利用のできるレジ袋の製作。

基本方針1 2R（リデュース・リユース）の推進

基本施策2 家庭系ごみの減量化

施策名	概 要
④プラスチックごみ削減の推進	・指定ごみ袋として使えるレジ袋を製作し、プラスチックごみ削減に取り組む。 ・製品プラスチックとプラ製容器包装の一括回収を開始する。

基本方針3 適正処理の推進

基本施策2 環境負荷の低減に配慮した中間処理の推進

施策名	概 要
⑬温室効果ガス排出量の削減	・プラスチック資源をリサイクルすることでCO ₂ 削減を図る。

4 食品ロスの削減の推進（ごみ処理基本計画 P38）

- ・国は、家庭系及び事業系食品ロスを 2030（令和 12）年度までに 2000（平成 12）年度比で半減させる目標を設定。
- ・本市においては、家庭系食品ロス量は令和元年度に比べ 11%減少していると推計、食品ロス削減の取組み等の周知啓発が必要。

基本方針 1 2R（リデュース・リユース）の推進

基本施策 2 家庭系ごみの減量化

施策名	概 要
⑤ 食品ロス削減の推進	・市ホームページにおいて、市民や事業者に対する食品ロス削減のための取組（食品廃棄や食べ残し等を減らす実践活動）やフードバンク活動の普及啓発に努める。 ・ホテルや飲食店を対象とした「やまぐち食べきり協力店」への登録や、食品関連事業者等を対象とした「ぶちエコ食品ロス削減パートナー」の未登録者への周知を行い、登録者を公表することで、食品ロス削減に取り組む事業者の認知度向上を図る。

【参考資料】

1. 県内 13 市との比較表（1 人 1 日あたりごみ排出量等）・・・資料 2
2. 指定ごみ袋のレジ袋化について・・・資料 3
3. （参考）ごみ処理手数料の考え方（前回質問が出た事項）・・・資料 4